

主な質疑応答の要旨

説明会概要

2026 年 8 月 10 日（月）16:30-17:30（Zoom ウェビナー）

機関投資家・アナリスト向け

質問 1. 地域別売上高 中国の売上高増加と日本（韓国含）の売上高減少について

回答 中国の増加に関しては CZ シリーズを中心にパッケージ基板向けの需要が伸びていることが背景。日本の売上高減少に関しては、主に 1Q にあった機械売上の反動、日本の代理店経由で販売している韓国向けについては、メモリー向けの需要は強いものの出荷のタイミングによる減少があったことによるものである。

質問 2. 2Q の利益率が 1Q より低下した背景について

回答 主に 1Q に発生を見込んでいた費用が 2Q に遅れて発生したこと、一過性の費用が発生したこと等によるものである。

質問 3. 2026 年 12 月期下期計画の背景について

回答 5 月に開示した通期計画には見えていなかった点がクリアになりつつある状況を反映した。ホルムズ海峡の影響は小さくなく、ガラスクロス需給が少しずつ緩んでいくと見ており売上高を上方修正している。利益については、人件費や売上増加に伴う発送運賃、12 月から稼働が始まる北九州工場の減価償却費等の費用増加を見込んでいる。

質問 4. 製品価格改定について

回答 慎重に検討していく。

質問 5. PCB 向けについて

回答 新しい技術の確立は難しさがある。お客様の使い勝手のよさを目指し評価、開発を進めている。

質問 6. 今後の設備投資について

回答 北九州工場は需要の状況を精査し、段階的に増強していく。今後の設備投資は状況を見ながら判断していく。